

## 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団における健診（検診）実績報告

当事業団は、がん・生活習慣病の克服に向けて、科学的根拠に基づく質の高い健診（検診）、知識の普及啓発、調査研究等を行うために学術研究センターを設置しております。

特に、各種健診（検診）データの分析・評価を行い、予防医学等に関する調査研究に資するため、胃・大腸がん、乳がん、子宮がん、肺がん、生活習慣病、労働衛生の6部門からなる学術専門部会を設置し、各委員はそれぞれの分野の有識者で構成されています。

今回の報告は、6学術専門部会で分析・評価いただいた実績報告です。

### 【平成23年度健診（検診）実績概要報告】

平成23年度に当事業団で行いました健診（検診）総数は60万人を超えました。その内で主なものは、健康増進事業として行われています「がん検診」が306,175人（胃がん：80,165人、大腸がん：63,433人、肺がん：45,540人、子宮がん：59,034人、乳がん：58,003人）で最も多く、次いで健康診査123,762人（労働衛生における一般健診83,152人含む）、特殊健診11,692人でした。

特定健診は職域（企業等）42,858人、地域（住民）37,097人の79,995人で、特定保健指導は職域で積極的支援（生活習慣改善の必要性が高い方）222人（評価率97.2%）、動機付け支援（対象者自身の努力による行動変容が促される方）268人（評価率98.3%）、地域で積極的支援133人（評価率70.0%）、動機付け支援410人（評価率85.8%）の計1,033人を実施しました。支援開始6ヶ月後の腹囲・体重の変化の平均は、職域の積極的支援で $-2.0\text{cm} \cdot -1.9\text{kg}$ 、職域の動機付け支援で $-1.5\text{cm} \cdot -1.3\text{kg}$ 、地域の積極的支援で $-0.9\text{cm} \cdot -1.0\text{kg}$ 、地域の動機付け支援で $-0.5\text{cm} \cdot -1.0\text{kg}$ で、特定保健指導により、概ね腹囲・体重の改善がみられました。

さて、平成24年度（2012年度）は、健康増進政策に大きな動きがありました。第1は、2007年にスタートしました「がん対策推進基本計画」が5年を終了し、これまでの結果を基に「第2期がん対策推進基本計画」が6月から始まりました。第2は、2000年にスタートしました「健康日本21」も10年間で終了し、次の10年を目指した「健康日本21（2次）」が策定され、平成25年（2013年度）4月から始まっております。今後、目標を達成するためには、国民、医療従事者、行政が一体となり進めていくことが必要であります。私ども健診機関におきましても、職員一同、目標達成に向けて努力していきたく思います。

当事業団の健康診断及びそのデータを皆様の健康管理に役立てていただき、疾病予防、疾病の早期発見・早期治療の一助になれば幸いに存じます。

平成25年9月

公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団  
会長 原 信之

## 平成23年度 がん検診実施状況総括(日本対がん協会全国支部合計と事業団実績)

		受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)
		(A)	(B)	B/A×100	(C)	C/B×100	(D)	D/A×100
胃がん検診	福岡県支部(当事業団)データ	80,165	5,864	7.3	4,429	75.5	94	0.12
	日本対がん協会(全国支部合計)データ	2,286,423	187,027	8.2	145,946	78.0	2,624	0.11
子宮頸がん検診	福岡県支部(当事業団)データ	59,034	575	1.0	489	85.0	24	0.04
	日本対がん協会(全国支部合計)データ	1,365,451	17,631	1.3	13,584	77.0	986	0.07
乳がん検診	福岡県支部(当事業団)データ	58,003	4,466	7.7	4,083	91.4	147	0.25
	日本対がん協会(全国支部合計)データ	1,256,974	73,958	5.9	63,293	85.6	2,631	0.21
大腸がん検診	福岡県支部(当事業団)データ	63,433	3,200	5.0	2,020	63.1	103	0.16
	日本対がん協会(全国支部合計)データ	2,300,539	132,420	5.8	86,622	65.4	3,445	0.15
肺がん検診	福岡県支部(当事業団)データ	45,540	1,698	3.7	1,508	88.8	25	0.05
	日本対がん協会(全国支部合計)データ	3,126,219	67,086	2.1	53,107	79.2	1,351	0.04

### 1. 胃がん検診の実施状況

※早期がんを深達度M・SMと定義

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	48,794	3,538	7.3	3,145	88.9	87	0.18	66	75.9	2.46
職域	29,576	2,198	7.4	1,222	55.6	7	0.02	6	85.7	0.32
ドック	1,795	128	7.1	62	48.4	0	0	0	0	0
計	80,165	5,864	7.3	4,429	75.5	94	0.12	72	76.6	1.60

平成23年度の胃がん検診受診者数は地域で48,794人、職域で29,576人、人間ドックで1,795人、計80,165人であった。  
 全体の要精検率は7.3%、精検受診率は75.5%、発見がん数は94人でがん発見率は0.12%、そのうち早期がんは72人で早期がん率は76.6%、陽性反応適中度は1.6%であった。  
 いずれの値も、厚生労働省が平成20年に策定した市町村事業における評価指標の(許容値:精検受診率70%以上、要精検率11%以下、がん発見率0.11%以上、陽性反応的中度1.0%以上)は満たしている。

### 2. 子宮頸がん検診の実施状況

※早期がんを臨床病期 I A1期までと定義

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	46,797	386	0.8	348	90.2	19	0.04	14	73.7	4.92
職域	11,592	175	1.5	127	72.6	5	0.04	3	60.0	2.86
ドック	645	14	2.2	14	100.0	0	0	0	0	0
計	59,034	575	1.0	489	85.0	24	0.04	17	70.8	4.17

※注:発見がんの内、上皮内癌12名を除いた場合、全体のがん発見数12名、発見率0.02%、早期がん数5人、早期がん率41.7%、陽性反応的中度2.01%

平成23年度の子宮頸がん検診受診者数は地域で46,797人、職域で11,592人、人間ドックで645人、計59,034人であった。  
 全体の要精検率は1.0%、精検受診率は85.0%、発見がん数は24人でがん発見率は0.04%、そのうち早期がんは17人で、早期がん率70.8%、陽性反応適中度は4.17%であった。  
 これは、厚生労働省が平成20年に策定した市町村事業における評価指標の許容値(要精検率1.4%以下、精検受診率70%以上、がん発見率0.05%以上、陽性反応適中度4.0%以上)の内、がん発見率は許容値を満たしていないが、他の許容値は満たすものであった。

### 3. 乳がん検診の実施状況

#### ①平成23年度 乳がん検診受診状況

※早期がんを臨床病期Ⅰ期までと定義

	受診者数(人)	要精者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	45,454	3,462	7.6	3,275	94.6	135	0.30	96	71.1	3.9
職域	11,859	931	7.9	752	80.8	11	0.09	9	81.8	1.2
ドック	690	73	10.6	56	76.7	1	0.14	1	100.0	1.4
計	58,003	4,466	7.7	4,083	91.4	147	0.25	106	72.1	3.3

平成23年度の乳がん検診受診者数は地域で45,454人、職域で11,859人、人間ドックで690人、計58,003人であった。全体の要精検率は7.7%、精検受診率は91.4%、発見がん数は147人だがん発見率は0.25%、そのうち早期がんは106人で早期がん率72.1%、陽性反応適中度は3.3%であった。

これらの成績は、厚生労働省が平成20年に策定した地域検診における評価指標(許容値:要精検率11%以下、精検受診率80%以上、がん発見率0.23%以上、陽性反応適中度2.5%以上)を満たしている。

#### ②クーポン対象年齢の受診者数の変化

無料クーポン券配布前の平成20年度に比べ、無料クーポン券配布後は3万人代から4万人代へ大きく伸びている。各年齢ともクーポン券配布により受診者数は増えて、配布2年目も3年目も同様の傾向である。

	H20	H21	H22	H23
40歳	603	1,530	1,645	1,865
45歳	589	1,145	1,257	1,293
50歳	526	1,377	1,264	1,337
55歳	917	1,808	1,533	1,630
60歳	1,430	2,984	2,942	2,773
クーポン年齢計	4,065	8,844	8,641	8,898
全年齢計	34,604	42,546	40,308	41,528

#### ③無料クーポン券対象年齢のがん発見率

無料クーポン券対象年齢のがん発見率は平成22年を除いて若干の伸びが見られている。

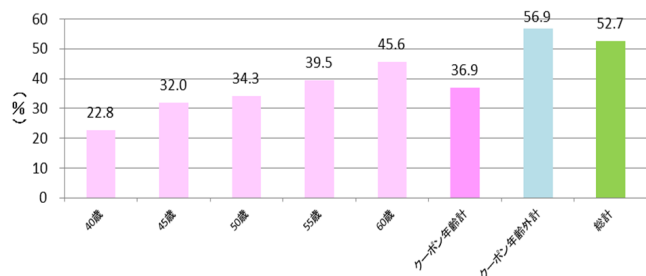
	H20	H21	H22	H23
発見がん数(人)	11	29	20	30
受診者数(人)	4,065	8,844	8,641	8,898
がん発見率(%)	0.27	0.33	0.23	0.34

#### ④クーポン対象年齢の継続受診状況

平成21年度の受診者の1年後または2年後の受診率は、全体では52.7%、クーポン券対象年齢では36.9%であった。年齢別では、60歳では約半数の割合であるが、40歳22.8%、45歳32.0%、50歳34.3%、55歳39.5%、60歳45.6%で若い年代ほど経年受診率は低い。

H21年度年齢	H21受診者数(人)	H21受診者のうちH22orH23受診(人)	経年or隔年受診割合(%)
40歳	1,530	349	22.8
45歳	1,145	366	32.0
50歳	1,377	472	34.3
55歳	1,808	714	39.5
60歳	2,984	1,360	45.6
クーポン年齢計	8,844	3,261	36.9
クーポン年齢外計	33,702	19,170	56.9
総計	42,546	22,431	52.7

1年後または2年後の受診率



#### 4. 大腸がん検診の実施状況

※早期がんを深達度M・SMと定義

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	35,786	1,903	5.3	1,513	79.5	79	0.22	54	68.4	4.2
職域	25,262	1,191	4.7	469	39.4	23	0.09	15	65.2	1.9
ドック	2,385	106	4.4	38	35.8	1	0.04	1	100.0	0.9
計	63,433	3,200	5.0	2,020	63.1	103	0.16	70	68.0	3.2

平成23年度の大腸がん検診受診者は地域が35,786人、職域が25,262人、ドックが2,385人、計63,433人であった。  
要精検率は5.0%、精検受診率は63.1%、発見がん数は103例、がん発見率は0.16%、そのうち早期がんは70例で早期がん率は68.0%、陽性反応適中度は3.2%であった。

厚生労働省が平成20年に策定した市町村事業における評価指標(許容値:要精検率7.0%以下、がん発見率0.13%以上、陽性反応適中度1.9%以上)は満たしているが、精検受診率は目標値90%以上に満たない。

#### 5. 肺がん検診の実施状況

要精検を胸部読影判定D・Eとした場合

※早期がんを臨床病期 I A期までと定義

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	44,049	1,640	3.7	1,463	89.2	25	0.06	10	40.0	1.52
職域	1,491	58	3.9	45	77.6	0	0	0	0	0
計	45,540	1,698	3.7	1,508	88.8	25	0.05	10	40.0	1.47

要精検を胸部読影判定Eのみとした場合

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	44,049	561	1.3	515	91.8	12	0.03	5	41.7	2.14
職域	1,491	2	0.1	1	50.0	0	0	0	0	0
計	45,540	563	1.2	516	91.7	12	0.03	5	41.7	2.13

読影判定別 がん発見内訳

	受診者数(人)	読影判定D				読影判定E				陽性反応適中度(%)	
		該当者(人)	がん(人)		該当者(人)	がん(人)		全体(D+E)	Eのみ		
			早期	進行		早期	進行				
地域	44,049	1,079	5	8	561	5	7	1.52	2.14		
職域	1,491	56	0	0	2	0	0	0	0		
計	45,540	1,135	5	8	563	5	7	1.47	2.13		

平成23年度の大腸がん検診受診者数(喀痰検査のみ除く)は地域で44,049人、職域で1,491人、計45,540人であった。

胸部読影判定D・E判定を要精検とした場合、要精検率は3.7%、精検受診率は88.8%、発見がん数は25人でがん発見率は0.05%、そのうち早期がんは10人で、早期がん率40%、陽性反応適中度は1.47%であった。

一方、胸部読影判定E判定を要精検とした場合、要精検率は1.2%、精検受診率は91.7%、発見がん数は12人でがん発見率は0.03%、そのうち早期がんは5人で、早期がん率41.7%、陽性反応適中度は2.13%であった。

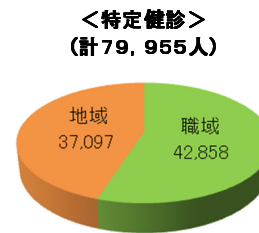
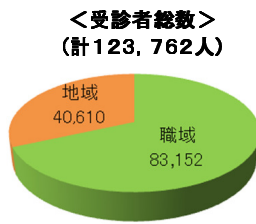
厚生労働省が平成20年に策定した市町村事業における評価指標の許容値(E判定のみ)では要精検率3.0%以下、精検受診率70%以上、がん発見率0.03%以上、陽性反応適中度1.3%以上であり、当事業団における値は全て満たしていた。

一方、読影判定別の要精検者は、Dが1,135人、Eが563人であったが、そのうちD判定からは早期5例、進行期8例の計13例、E判定からは早期5例、進行期7例の計12例のがんが発見された。

## 6. 健診・特定保健指導

### 受診者および有所見者状況

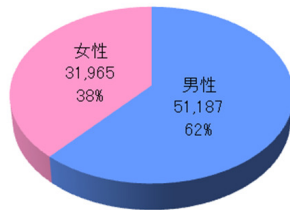
#### ①平成23年度 健診受診者状況



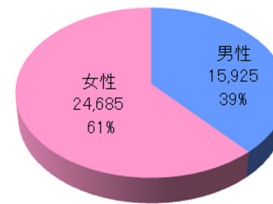
平成23年度の健診受診者総数は、職域83,152人、地域40,610人の計123,762人であった。その内、特定健診は職域42,858人、地域37,097人の計79,955人であった。

#### ＜性別・年齢構成＞

##### 【職域】



##### 【地域】



	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
男性	9,658	14,411	11,004	10,467	5,272	375
女性	6,495	9,580	7,353	6,119	2,213	205

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
男性	64	542	1,661	1,969	6,870	4,635	184
女性	175	1,875	2,235	3,330	11,283	5,636	151

性別・年齢別にみると、職域は男性が約6割を占め、30歳代が最も多く、地域は女性が6割を占め、60歳代が最も多くなっていた。

#### ②特定保健指導状況

##### ＜腹囲・体重の変化の平均(支援開始6ヶ月後)＞

##### 【職域】

積極的支援		動機付け支援	
腹囲増減数(平均)	体重増減数(平均)	腹囲増減数(平均)	体重増減数(平均)
-2.0 cm	-1.9 kg	-1.5 cm	-1.3 kg

##### 【地域】

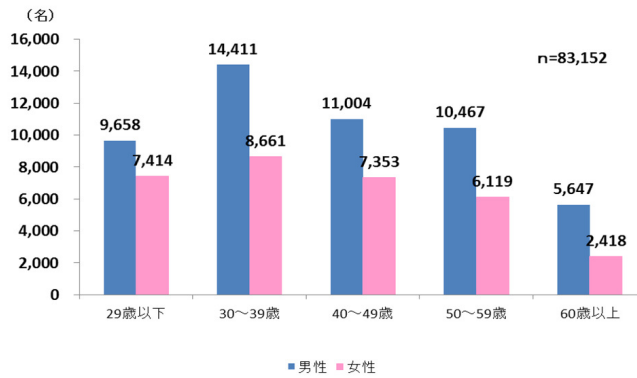
積極的支援		動機付け支援	
腹囲増減数(平均)	体重増減数(平均)	腹囲増減数(平均)	体重増減数(平均)
-0.9 cm	-1.0 kg	-0.5 cm	-1.0 kg

## 7. 労働衛生

### 一般健康診断実施状況

年齢別の受診者数では、29歳以下が17,072人、30歳代が23,072人、40歳代が18,357人、50歳代が16,586人、60歳以上が8,065人となっている。男女とも30歳代が最も多く、次いで男性では40歳代、女性では20歳代が多い結果となった。当事業団が実施している大規模の事業場では、若年者が多く、40歳未満の受診者数に影響していると予測される。

【年齢階級別受診者数】



【男女別年齢階級別受診割合】

